

令和8年1月 定例教育委員会会議録

〈 開会 10時00分 〉

開 催 日	令和8年1月23日（金）10時00分～11時40分										
開 催 場 所	半田市役所 庁議室										
出 席 委 員	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">教 育 長 榊原雅晃</td> <td style="width: 50%;">委 員 新美 大</td> </tr> <tr> <td>委 員 久米宏和</td> <td>委 員 桂 優子</td> </tr> <tr> <td>委 員 正村日登美</td> <td>委 員 堀崎隆資</td> </tr> </table>	教 育 長 榊原雅晃	委 員 新美 大	委 員 久米宏和	委 員 桂 優子	委 員 正村日登美	委 員 堀崎隆資				
教 育 長 榊原雅晃	委 員 新美 大										
委 員 久米宏和	委 員 桂 優子										
委 員 正村日登美	委 員 堀崎隆資										
説明のため出席した職員	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">教 育 部 長 森 田 知 幸</td> <td style="width: 50%;">学 校 教 育 課 長 内 藤 誠</td> </tr> <tr> <td>主任指導主事 木 下 稔 章</td> <td>給食センター所長 榊 原 秀 夫</td> </tr> <tr> <td>生涯学習課長 青 木 美 希</td> <td>ス ポ ー ツ 課 長 門 田 和 博</td> </tr> <tr> <td>スポーツ課主幹 河 合 信 二</td> <td>図 書 館 長 藤 井 寿 芳</td> </tr> <tr> <td>博 物 館 長 関 正 樹</td> <td>新美南吉記念館長 遠 山 光 嗣</td> </tr> </table>	教 育 部 長 森 田 知 幸	学 校 教 育 課 長 内 藤 誠	主任指導主事 木 下 稔 章	給食センター所長 榊 原 秀 夫	生涯学習課長 青 木 美 希	ス ポ ー ツ 課 長 門 田 和 博	スポーツ課主幹 河 合 信 二	図 書 館 長 藤 井 寿 芳	博 物 館 長 関 正 樹	新美南吉記念館長 遠 山 光 嗣
教 育 部 長 森 田 知 幸	学 校 教 育 課 長 内 藤 誠										
主任指導主事 木 下 稔 章	給食センター所長 榊 原 秀 夫										
生涯学習課長 青 木 美 希	ス ポ ー ツ 課 長 門 田 和 博										
スポーツ課主幹 河 合 信 二	図 書 館 長 藤 井 寿 芳										
博 物 館 長 関 正 樹	新美南吉記念館長 遠 山 光 嗣										
事 務 局	学校教育課総務担当主査 羽根 広										
報 告 事 項	<p>■議題</p> <p>(1) 教育大綱の見直しについて</p> <p>(2) 半田市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画（訂正案）について</p> <p>(3) 令和8年度給食費の改定について</p> <p>■報告事項</p> <p>(1) 令和7年度学校訪問・園訪問のまとめについて</p> <p>(2) 令和7年度半田市教育委員会表彰式について</p> <p>(3) 寄附、後援願について</p> <p>(4) 児童生徒(園児)の交通事故・問題行動等について</p> <p>(5) 「令和8年半田市二十歳の集い」開催報告について</p> <p>(6) 令和8年度半田空の科学館の臨時開館・臨時休館について</p> <p>(7) 令和7年度半田市スポーツ協会表彰式について</p> <p>(8) 令和8年度 半田福祉ふれあいプール・青山記念武道館臨時会館・臨時休館について</p> <p>(9) 各種事業について</p> <p>①「TOKA COLLECTION～桐華から夢をX～」の開催</p> <p>②文化財の消防訓練実施</p> <p>③ミニ展示「ひなまつり展」</p> <p>④講座「南吉のセンス・オブ・ワンダー2.0」の開催</p> <p>⑤貝殻忌ウォークの開催</p>										
各課事務連絡	図書館										

＜議事録＞

<p>1. 前回の会議録の承認</p>	<p>(事務局) 12月定例会の会議録について概要説明 → 承認</p>
<p>2. 教育長報告</p>	<p>(教育長) 12月27日、亀崎小学校新校舎竣工式を開催した。その後の内覧会には1,200人を超える申込みがあったようで心配していたが、学校の先生方や学校運営協議会の方々の尽力もあって、スムーズに滞りなく新校舎を見ていただくことができた。新校舎を拠点として子どもたちのために地域一丸となって発展していくことを願う。 1月11日、二十歳の集いが開催された。恩師がビデオメッセージだけでなく、当日も30名ほど出席くださったということで、教育愛を感じて敬意を表したい。実行委員会による企画運営により、式典に続く第二部では初めて有志発表が行われた。ピアノとフルートのアンサンブル、ギターの弾き語り、ダンス、スピーチの発表など。発表者はそれぞれ自ら手を挙げて出演したとのことで、熱のこもったレベルが高い立派な発表ばかりだった。特に、スピーチをした男性2人が自分の経験や夢を堂々と語る姿には感動した。また、客席の参加者たちの見る態度もよかった。大変すばらしい会になったと思う。 1月16日、来年度新たに中学校に設置予定の校内教育支援センターについて、各学校の管理職と担当者に集まっていただき、概要説明と情報交換会を実施した。学校によって事情が異なるので、対応も異なり難しい面もあるが、どの学校も設置に向けて前向きに取り組んでいる。教育委員会としては、支援員の採用に当たって、教育支援センター立ち上げに相応しい人材を採用することが大事。また、4月以降も学校に任せきりにならないよう伴走支援していく。 1月19日から、順次校長と今年度の学校経営に関する振り返りの面談を始めた。次年度以降のよりよい学校作りに向けて反省と改善を促していく。</p>
<p>■議題 1) 教育大綱の見直し</p>	<p>(学校教育課長) 先月、この定例教育委員会の場で説明した教育大綱の見直しについて、委員の皆様から様々なご意見をいただいたので、その対応について説明する。 大綱の中身や、今後の対応等に係るものは3点で、その対応等について一覧化した。 意見の一点目は、I. 学校教育の＜基本理念＞の箇所、もともとの大綱には記載のあった、元気いっぱい、笑顔いっぱい、優しさいっぱいの各フレーズの説明箇所(定義)について、これを削除したところ、これらのフレーズの重要性が伝わらなくなるのでは、というものだった。対応としては、説明箇所を元に戻すということはないが、これらのフレーズとこれに続く一連の文章を一纏めにしてカギ括弧で括り、かつ、太字とすることで強調するよう改めた。</p>

	<p>意見の二点目は、同じく学校教育の＜基本方針＞3の（2）の箇所 で、文中、「誰ひとり取り残されない」というフレーズを用いていたが、 通常、このフレーズは、共生社会の実現に関する文脈で使われるので は、というものだった。対応としては、3の（3）が共生社会の実現に 関する条文であるため、この中に組み込むこととした。なお、文章表現 は、愛知県の大綱の表現をそのまま借用している。</p> <p>意見の三点目は、大綱自体というより、半田市の教育そのものについ て、子どもたちの意見を聞く機会があるとよいというものだった。対応 としては、今後、そのような機会の創出を意識しつつ、ただ、半田市で は、子ども未来部が所管部署となって、令和9年度に半田市こども計画 を策定予定で、私も含めて学校教育課の職員も策定メンバーとなってい るため、教育を含む、あらゆる分野で若者やこどもの意見を聞き、市の 施策等に活かしていくような仕組みづくりを進めていくこととする。</p> <p>（教育長） 一つずつ確認していく。基本理念について、定義を削ったことへの対 応についてはどうか。</p> <p>（新美委員） よくなったと思う。</p> <p>（教育長） 基本方針3（2）（3）についてはどうか。</p> <p>（委員） 異議なし。</p> <p>（教育長） 3つ目として、子どもの意見についても意識していきたいとのことだ が、この機会に様々な場面で心がけていきたい。 この3点目を含め、意見はあるか。</p> <p>（委員） 異議なし。</p> <p>（教育長） では、この内容で総合教育会議の資料とする。</p>
2) 半田市立学 校の教育職員に 関する業務量管	<p>（主任指導主事） まず、前回話題になった令和6年度9月以降の中学校における時間外 在校等時間の変化について。令和5年度および令和6年度の月別時間外</p>

理・健康確保措置実施計画（訂正案）

在校等時間を比較すると、部活動の地域移行を行う前の令和5年度の中学校における9、10、11月の80時間を超えた教員の割合から、部活動の地域移行が開始された令和6年度の中学校における同月の80時間を超えた教員の割合は、大幅に減少していることがみてとれる。ただし、大幅に減少はしているが、完全に0%になっていない。

前回12月の定例教育委員会において協議された内容について、修正箇所を太字下線で示してある。10ページに令和8年度以降の数値目標を設定したが、今後は、時間外在校等時間について、月80時間超の割合を0にすることを始めとして、段階を踏んで時間削減を進めていきたいと思う。

教職員の負担を軽減し、時間削減を促進するための取組として、自動音声による電話対応の時間を教職員の勤務時間以外すべての時間とする方向で考えている。その開始時期について、前回記載していた令和9年度から市内全校一斉にという内容を、来年度の令和8年度から市内全校一斉に行うことに修正した。このことについては、1月の校長会議において協議し、各校の承認も受けている。それに合わせて、勤務間インターバルを11時間とする案についても、今後校長会議等を通じて慎重に検討し、効果的に活用していくことで時間外在校等時間のさらなる削減につなげたいと考えている。

また、産業医面談についてもしっかりとフォローできるように予算措置の検討を行っていくとともに、相談窓口の周知徹底を行うことによって、心理的にも負担感を減らしていく取組を進めていきたいと考えている。

以上の形で計画・実行していくことについて了承いただきたい。

（教育長）

ただいま説明のあった内容についてよろしいか。特に留守番電話の設定時間については、校長会で協議し、令和8年度から一斉に始めることとした。

（久米委員）

学校が留守番電話に切り替えたことで、市に電話がかかってくる件数はどの程度あるのか。

（主任指導主事）

時間外に保護者から電話がかかってくることはほとんどない。休日にかかってきた電話で、対応が必要なことは稀にある。その場合は、教育委員会から学校へ連絡と取って対応する。令和7年度は入試の件で1件あった。

今回の措置により、当初は戸惑うこともあるかもしれないが、慣れてくると思う。

	<p>(教育長)</p> <p>児童生徒が家に着くまでは学校の電話を繋がるようにしておくべきではという現場の意見もあったが、勤務時間外に労働させることとなり法的には認められない。このように進めていく限りは、学校の先生の意識も変えていかなければならない。また、保護者や地域の皆様にも、理解をしていってほしい。緊急で何かあれば市役所に連絡いただければ対応することはできる。決して、先生たちが子どもたちを見放すということではないので、丁寧に周知に努めたい。</p> <p>今後の流れについても説明してください。</p> <p>(主任指導主事)</p> <p>このあと、総合教育会議で報告し、その後、ホームページで公表する。この計画は法律によって公開が義務付けられている。次年度以降は、年度末に実績も報告するとともに、必要に応じて計画の修正をする。</p> <p>(教育長)</p> <p>では、本日の会議により、表紙の(訂正案)がなくなった形で計画が完成したものとする。計画が効力を発するのはいつか。</p> <p>(主任指導主事)</p> <p>令和8年4月からの計画となっている。</p> <p>(教育長)</p> <p>各学校は、これに従って計画を立てていかなければならない。また、次年度以降は実績も含めて総合教育会議の場において市長にも報告する。</p>
<p>3) 令和8年度 給食費の改定</p>	<p>(給食センター所長)</p> <p>はじめに、学校給食の食材購入費については、学校給食法に基づき、給食費として保護者の皆さまにご負担いただいている。</p> <p>給食費については、昨今の食材費の高騰を受け、令和7年度に5年ぶりとなる値上げ改定を行い、現在、小学校は300円、中学校は350円としている。また、令和7年度に開始した幼稚園給食については、月額徴収としているが、1食あたりに換算すると、園児が270円、教諭等が324円となっている。</p> <p>しかしながら、食材費の高騰は依然として続いており、本市を始め多くの市町では、安定供給を確保するため、「公益財団法人 愛知県学校給食会」を通じて主食を調達しているが、12月24日に開催された説明会において、令和8年度の主食費がさらに上昇するとの説明があった。</p>

示された主食の供給価格は、パン、麺ともに値上がりしていたが、特に米飯については上昇幅が大きく、令和7年度と比較して17円に及ぶ上昇となっている。これに牛乳の値上げ分を合わせると、1食あたり概ね20円程度の不足が生じることが確実となった。

さらに、副食費の上昇分も考慮すると、このまま給食費を据え置くことは、給食の質を維持する上で非常に厳しい状況である。

当初は、令和7年度に改定したばかりであることや、令和8年度からは全額保護者負担とする方針も踏まえ、改定を行わずに対応できないか検討していたが、主食と牛乳だけで1食あたり20円の高騰となると、努力だけでは賄いきることができない状況である。

そこで、去る1月5日、半田市学校給食運営協議会に対し、給食費の改定について諮問を行った。

給食費については、「半田市学校給食費 事務取扱規則 第4条」に基づき、半田市学校給食運営協議会の意見を聴いた上で、教育委員会が定めることとされている。

諮問の結果、資料のとおり、当協議会から半田市教育員会に対し答申書が提出された。答申書の内容は、次のとおり。

1. 学校及び幼稚園給食費は値上げをすることが妥当である。
2. 1食あたりの金額については、小学校が30円値上げの330円、中学校が30円値上げの380円、幼稚園が20円値上げの290円、教諭等は24円値上げの348円とすることが妥当である。
3. 月額徴収である幼稚園給食費は、1食あたりの金額に1か月の平均実施回数17日を乗じ、園児の給食費は、340円値上げの月額4,930円、教諭等の給食費は、408円値上げの月額5,916円とすることが妥当である。
4. 改定の時期は、令和8年4月1日とすることが適当である。

以上の答申を踏まえ、学校及び幼稚園給食費の改定について、実施することを決定いただきたく、本日お諮りするもの。

なお、今回の値上げ分については、令和8年度においては子育て支援策として、保護者に新たな負担を求めず、公費で賄うことを予定している。

また、参考として、資料の下の表に令和8年度における保護者負担額及び公費負担額を整理している。中学校と幼稚園については、当初の方針を変更し、令和7年度に値上げした分についても、引き続き公費で賄う予定としており、保護者負担額は、従来と同額となる。

小学校については、国における給食費無償化の動きを受け、児童1人につき月額5,200円が、県を通じて支給されることとなっている。

しかしながら、今回の改定により、この月額5,200円のみでは給食費を賄いきれなくなることから、令和8年度においては、不足分について重点支援地方交付金を活用することで、結果として小学校給食費の無償化を実現する予定としている。

(堀崎委員)

この度の衆議院議員選挙における各党の公約では、食料品の消費税を

0%とする方針が示されている。これが実現した場合、給食費の改定に影響する可能性があるのではないかと。現時点で改定を決定してよいのか。

(給食センター所長)

消費税0%は現時点で確定しておらず、国からの通知もない。確かに消費税が0%となれば食材購入費の減少は見込まれるが、あくまで見込みにとどまることから、現段階では提案のとおりとしたい。今後、国から正式な通知があった場合には、必要に応じて対応する。

(新美委員)

おそらく4月1日から消費税率を変更することは、法改正が必要であるため難しいと思われる。実施は令和9年度以降になるのではないかと。事業者の対応に要する期間についても考慮しなければならない。

(教育長)

例えば、おかずを1品増やすなど、質の面で還元していくことも考えられる。いずれにしても、確定していないことを先取りして実施することは難しい。

(給食センター所長)

給食費の抜本的負担軽減については、4月1日からの実施が予定されており、国からも通知で示されている。

(教育長)

どのタイミングで公表するかが難しい。また、いつ、どのように市民へ伝えるかは検討を要する。

(教育部長)

今回は、値上げ分の公費負担を終了し、保護者負担とする方針を公表した。あわせて、その内容は新聞にも掲載された。これについては、周知期間等を考慮したタイミングで公表したものである。

一方、今回の改定については、国の動きが確定していなかったことから十分な周知期間を設けることができず、4月1日からの給食費について現時点での公表は遅いくらいと考えている。

本日、方針を決定し、2月16日に開催される全員協議会で公表する予定である。翌日の新聞に掲載されることが想定される。

本日の会議では、給食費の値上げについて審議していただく。公費負担のあり方や保護者負担をどうするかは、市が予算も含めて判断する。最終的には、3月議会において令和8年度予算の議決をいただく必要が

	<p>ある。</p> <p>保護者への通知は、2月16日の全員協議会の翌日に行う予定である。</p> <p>(教育長)</p> <p>社会状況を踏まえた給食費の改定について、学校給食運営協議会からの答申を受け、教育委員会として決定する。</p> <p>提案のとおり、小中学校は30円、幼稚園は20円、幼稚園教諭等は24円増額することについて、ご異議はないか。</p> <p>(委員)</p> <p>異議なし。</p>
<p>■報告事項</p> <p>1) 令和7年度 学校訪問・園訪問のまとめ</p>	<p>(主任指導主事)</p> <p>学校訪問及び園訪問について、委員の皆様にはご多用の中、学校への訪問および指導いただいたことに感謝申し上げます。</p> <p>小中学校訪問のまとめについて、資料にまとめてあり、項目ごとにポイントを絞って説明する。</p> <p>(A)～(C)の公開・特設授業に関連した内容については、各学校が力を入れている内容について学校全体で共有されていることが、授業実践を見て感じられた。昨年度に引き続き、「個別最適な学び」「協働的な学び」「自由進度学習」などの新しい教育課題に対する研究が多く見られた。課題としては、新しい指導方法であるため、これまでに作成・使用していた学習指導案だと指導する内容を十分に示すことが難しくなっていることが挙げられる。指導する単元全体の内容をしっかりと考えて、一時間ごとではなく、単元全体でどのように児童生徒に適切な指導を行っていくかを考えていく必要があると感じた。次年度以降の研究に生かして欲しい。</p> <p>(3)の学習指導の充実では、「主体的、対話的で深い学び」の「深い学び」を意識した取組があった。「学びが深まった状態」をしっかりと意識して授業に取り組むところまで授業が成熟している実践が見られた。タブレット端末の利活用についても、これまで授業での使用の充実を意識してきたところから、単なる「作業や活動」ではなく「思考」につなげるためのツールとして使っていくことが課題になってきているなど、活用方法についても研究が深まってきていることを感じた。</p> <p>(6)の生徒指導、(7)の特別支援教育については、個々の児童生徒の実態をしっかりと把握し、保護者や関係機関と丁寧に対応していくといった基本的な取組について、市内の多くの学校で工夫や努力を続けている姿が見られた。個々の教員で対応するのではなく、「チーム」として、学校全体、さらには関係機関と連携する中で対応していくよう、今後も各校に働きかけていきたい。</p> <p>(8)の校内現職教育の推進については、各小中学校の「前向き」な姿勢が多く見られた。難しい課題に対しても、簡単にあきらめることなく、</p>

少しずつ、全教職員で意見を出し合いながら、といった「前向き」な思いを共有して研究を進めていくことは、今後も推進してほしい。

(9)の健康教育の充実については、児童生徒の健康管理や危機管理に対して養護教諭を中心として、管理職や各主任、学級担任との情報共有がしっかり意識できていることが分かった。また、感染症やアレルギー対応についても形式的な対応でなく、実際の運用を意識した指導になっている点が評価できる。

続いて、幼稚園訪問のまとめである。

1の訪問計画の立案及び訪問方法については、事前打合せの充実や実施時期に配慮した指導助言を行うことによって、園訪問がさらに充実することを実感した。

2の特設保育および公開保育については、園内の活動だけではなく、小学校とのつながりが意識される工夫や実践が見られた。小学校1年生の担任の先生が参観にみえるなど、その連携はより深まってきていると感じている。

3の園内現職教育の推進については、学級数の減少、職員数の減少によって現職教育の推進に苦慮する状況が見られ始めていることを感じた。教育委員会の指導を工夫したり、園同士のつながりの中で研究したりすることで、負担を減らすとともに少しでも教育の質を向上させていきたいと思う。

4の表簿類については、週の計画を1週ごとではなく、2週ごとで検討するように変更したり、学校日誌をパソコンでデジタル入力できるようにしたりすることによって、担任や職員の事務時間を短縮することができた。このことは、職員が園児に向かう時間の確保にもつながっていると感じた。今後も、ICTを活用した体制作りを進めていきたい。

(堀崎委員)

小中学校の(4)道徳教育の充実については記載がないが、特に意見や課題がないのか。

(主任指導主事)

今年度の学校訪問の振り返りの中では、道徳教育については特に課題などは挙げられなかった。

(堀崎委員)

相談員として学校に行くと、道徳で悩んでいる先生が多く、それに応えて道徳の授業を見て指導もしている。主体的で対話的な道徳になるようにしていかなければと思う。何も無いのはいかがか。

(教育長)

委員のご意見のとおり。道徳の授業もあったので、ここは、何らかのコメントがあるべき。次回からは気を付ける。

	<p>(久米委員) 報告内容についてではないが、学校訪問の案内文書に集合時間を記載いただきたい。</p> <p>(主任指導主事) 要項を送るだけではなく、集合の時間を記載するなどして漏れなく伝えられるようにする。</p>
2) 令和7年度半田市教育委員会表彰式	<p>(学校教育課長) 今年度の受賞者は、個人216名、団体1団体。区分ごとの内訳は資料に記載のとおり。また、受賞者名簿の一覧を添付しているので、あわせて確認してください。 後ほどスポーツ課からも説明があるが、当日は、例年どおり半田市スポーツ協会表彰式とあわせて実施する。</p>
3) 寄附、後援願等	<p>(学校教育課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寄附 3件 ・後援名義使用許可 8件
4) 児童生徒(園児)の交通事故・問題行動等	<p>(指導主事) 令和7年12月13日～令和8年1月12日の交通事故・問題行動等について。</p> <p>交通事故：1件 1月9日(金) 1件</p> <p>問題行動(被害)等：4件 12月2日(火) 1件 12月3日(水) 1件 12月15日(月) 2件</p> <p>交通事故以外の事故：3件 12月12日(金) 1件 12月17日(水) 1件 12月18日(木) 1件</p> <p>学校等被害等：0件 不審者情報：1件 12月18日(木) 1件</p>
5) 「令和8年半田市二十歳の集い」開催報告	<p>(生涯学習課長) 出席率は79%で昨年度から少し伸びている。当日の雰囲気は、非常にマナーがよく落ち着いていた。2部のアトラクションは、有志による発表があって、どれもレベルが高く素晴らしいものだった。 舞台袖で発表する方たちと話をしたが、多くの方が、自分が今こう考</p>

	<p>えている、こう思っていることを伝えたい、こういう人間なんだよ、悩んでいる人がいたらそばに寄り添いたいということをみんなに知ってほしいという思いから出演されており、とても立派だなと感心した。</p> <p>(教育長) 実行委員会がよく機能していたと感じた。</p> <p>(生涯学習課長) 実際に例年より集まる回数も多く、よく考えてくれていた。</p> <p>(教育長) 例えば、ちょっとしたことだが、ビデオメッセージを5校の学校順に流すのではなく、アトランダムにどこかの学校の先生が出てくるようにされており、どの参加者も最後まで集中して見られるような工夫がされていた。</p>
6) 令和8年度半田空の科学館の臨時開館・臨時休館	<p>(生涯学習課長) 休館日は、各条例施行規則により年未年始と月曜日と定めている。これに加えて、令和8年度は資料に記載の日が臨時開館、臨時休館日となる。この中で、11月24日(火)は県民の日学校ホリデーのため臨時開館し、翌日は臨時休館とする。</p>
7) 令和7年度半田市スポーツ協会表彰式	<p>(スポーツ課長) 先ほど、半田市教育委員会表彰式についての説明があったが、同時に開催するスポーツ協会の表彰式について。 受賞者は、特別体育功労賞4名、体育功労賞9名、特別優秀選手賞1名、スポーツ賞19名・1団体となる。 表彰基準については資料に記載の通り。</p>
8) 令和8年度半田福祉ふれあいプール・青山記念武道館臨時会館・臨時休館	<p>(スポーツ課長) いずれの施設も指定管理者が管理しており、指定管理者からの申出により開館、休館日を定めるもの。 半田福祉ふれあいプールは、夏休み期間中の休館日を臨時開館する。また、11月24日は県民の日学校ホリデーに伴い臨時開館する。令和8年10月13日から11月10日については、換水作業等設備の改修工事を行うので、この間は臨時休館する予定になっている。 青山記念武道館は、例年と同じく、指定管理者の提案を受け、本来休館日である月曜日もすべて開館する。</p>
9) 各種事業について	<p>(生涯学習課長) ①今回で10回目を迎える。チラシの裏面に詳細が記載されている</p>

<p>① TOKA COLLECTION ～桐華から夢を X～」</p>	<p>が、今回は子ども服にチャレンジするというこで、子どもモデルにも来てもらって、一緒にランウェイを歩く。</p>
<p>②文化財の消防 訓練実施 ③ミニ展示「ひ なまつり展」</p>	<p>(博物館長)</p> <p>②毎年1月26日は「文化財防火デー」である。これは、昭和24年1月26日に法隆寺金堂が炎上し壁画が焼損したことを受け、定められている。文化財を火災や震災などの災害から守るとともに、全国的に文化財防火運動を展開し、文化財愛護に関する意識の高揚を図るとともに、訓練を通じ、文化財の防火対策について、認識を新たにする機会となっている。今年の訓練は、資料のとおり2月1日(日)午前10時から亀崎にて行われる。</p> <p>③ミニ展示「ひなまつり展」について。この展示は毎年開催しているもので、今年は1月31日(土)から3月8日(日)まで、博物館1階受付前の展示コーナーにて開催する。市民の方から寄贈していただいた御殿(ごてん)飾(かざ)りの雛人形を始め、7段飾りの雛人形や、桐塑(とうそ)人形、乙川人形の内裏(だいり)雛(びな)などを展示する。また、期間中には県内35館の博物館・資料館との連携事業として「ひなまつりスタンプシールラリー」も開催する。</p>
<p>④講座「南吉の センス・オブ・ ワンダー2.0」 の開催 ⑤貝殻忌ウォー クの開催</p>	<p>(新美南吉記念館長)</p> <p>④3月8日に講座「南吉のセンス・オブ・ワンダー2.0」を開催する。センス・オブ・ワンダーとは、人が生まれながらに持っている神秘さや不思議さに目を見張る感性のことだが、南吉はこのセンス・オブ・ワンダーを通して自然を見つめ、創作をした人だった。令和6年にも、このテーマで講座を開催して好評だったが、その後もセンス・オブ・ワンダーの視点で南吉を見ていると、新たに気づくことがたくさんあった。そこで前回の内容を一部更新し、新たな内容で講座を行うもの。予約受付は2月7日から。</p> <p>⑤貝殻忌ウォークについて。3月22日の南吉の命日「貝殻忌」にあわせ、春の岩滑をガイドボランティア南吉案内人と一緒に歩くもの。開催は20日で、半田口駅から生家、八幡社、常福院、岩滑小学校などを巡り、記念館まで歩く。予約受付は2月14日から。</p>
<p>■各課からの事 務連絡</p>	<p>(図書館長)</p> <p>音響環境を活用した実証実験について。図書館は静かにすることが求められている場所であり、子ども連れにとっては利用しづらいという状況があると今回運営計画を作成する中でニーズを把握できた。一方で、当然ながら静かにしてほしいという利用者もいるため、共存することが課題となるが、それを音環境を整備しゾーニングすることで解決できないか実験するもの。</p> <p>目的は、「静寂」ルールを音環境により緩和したエリアを設け、子ども</p>

を含む利用者の行動変容、気軽なコミュニケーションの誘発および全体利用者からの許容度を検証するもの。

実証実験の概要は、①会話可能エリア（BGMあり）、②読書エリア（静かな雰囲気醸し出すようなBGMあり）、③読書エリア（音なし）の3つのエリアを設ける。

期間は、2月5日から3月中旬までで、協働していただく事業者や役割分担等は記載のとおり。図書館だけで実施するのではなく、この専門の事業者と協働して進めていく。

今後のスケジュールとしては、報道機関に情報提供したり様々な手法を使って周知を図り、市民の皆様にも理解を図る。

今後の展開は、あくまで今回は実証実験なので、効果を検証し、有効であると判断されれば、早く令和9年度に予算を確保しながら実施していきたいと考えている。

具体的なレイアウトとしては、スピーカーが内蔵されたベンチ、テーブルなどを事業者が今回のために作って設置する。また、植栽型サウンドデバイス、これは植栽の鉢にスピーカーが内蔵されているものだが、これをいくつか設置する。受付カウンターから見て一番左奥の児童コーナーが会話可能エリア。右奥の雑誌が閲覧できるエリアが音なしの読書エリア。新聞が置いてある大きなエリアはBGMありの読書エリア。この3箇所の実験を行う。

（久米委員）

実証実験が有効だとなった場合、本格実施するための予算はどれくらいか。

（図書館長）

概算では、植栽型スピーカーの購入費や音を流すWEB利用料などで50～60万程度と見込んでいる。

（教育長）

アンケートは、どのように実施するのか。

（図書館長）

館内を利用いただいている方々に対してQRコードを示したチラシを配り、WEB上でのアンケートを促す。

（教育長）

2月5日の開館時から始まるのか。

（図書館長）

	<p>2月3日に設置し、5日の開館時から開始する。蔵書点検のため1月28日から2月4日まで閉館しており、再開する5日から実証実験を開始する。</p> <p>また、この閉館期間中に、以前お知らせした知多信用金庫さんからの寄附を使って児童コーナーを充実させる件も進める。まさにこの会話可能エリアとなる場所。2月5日から新たな児童コーナー、図書館環境がご覧いただけるので、ぜひお越しください。</p>
	<p>(新美南吉記念館長)</p> <p>昨年2月に放送されたNHK「グレーテルのかまど～新美南吉のあんまき～」が好評により再放送されることになった。童話「牛をつないだ椿の木」に登場するあんまきを中心に、南吉のスイーツ男子っぷりが紹介される。</p> <p>放送日は、1月26日(月)22時～Eテレ、2月2日(月)11時05分～総合、2月4日(水)15時10分～Eテレ。昨年見逃された方は、ぜひご覧ください。</p>
<p>■教育委員からの意見提言等</p>	<p>(桂委員)</p> <p>学校訪問のまとめの報告を聞いて思い出したが、福岡県の立花高等学校の取組みを紹介させていただく。「できないことを認める」という教育方針のもと、学習環境を工夫している事例。例えば、ユニバーサルデザインの観点から刺激が目に入ると授業に集中できない子のために黒板の横をカーテンで隠せるようにしているとか。亀崎小学校の新校舎を見学させていただいたときに、マグネットで掲示できるようになっていた。掲示してあっても、カーテンやロールスクリーンがついていればすぐに隠せて、手間をかけずに、どの子にとっても集中しやすい環境ができるのではないかと。そういった視点も持って学校作りを進めていただきたい。</p> <p>(堀崎委員)</p> <p>私も同感。旧校舎のときより掲示物が多い印象があり、ADHDの児童は集中できないかもしれないので、工夫した方がいいと感じた。</p> <p>(学校教育課長)</p> <p>亀崎小学校は建ったばかりなので、今ある中で工夫していく。校舎建設は続いていくので、次からは参考にしていきたい。</p> <p>(桂委員)</p> <p>立花高等学校の先生が、東京都の日野市教育委員会が採用していると言っていたので、また機会があれば調べてみてください。</p>

	<p>(教育長)</p> <p>予算のこともあるので、教育委員会として方針を定めて進めるのか、各学校にお任せするのも含めて考える必要がある。どちらが良い悪いではなく、学校によってばらつきがあるのは確か。</p>
次回開催等	<p>(事務局)</p> <p>2月定例教育委員会 日時：2月10日(火) 10時00分～ 場所：半田市役所4階 庁議室</p> <p>(教育長)</p> <p>1月定例教育委員会を終了する。</p>

〈 閉会 11時40分 〉